



9月5日、マンチェスター大聖堂でウェルカムレセプション（歓迎式典）が開催され、実行委員によるあいさつや歓迎の演奏、参加者への参加証書の授与式が行われました。写真は、鈴木浩在英国日本国大使館特命全権大使（中央）から参加証書を受け取る磯部会長と会員の皆さん。

白糠町は、白糠アイヌ協会および白糠アイヌ文化保存会（磯部恵津子会長）による「アイヌ文化海外研修交流事業」として、異文化交流とアイヌ文化の世界発信を目的に「第50回ジャパンウィーク」に参加しました。

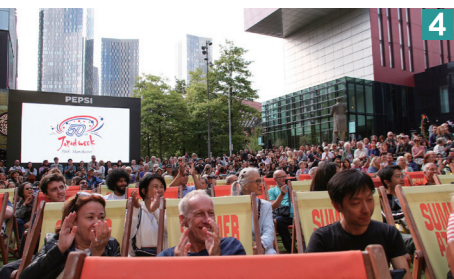
「ジャパンウィーク」とは、日本の生活文化、伝統芸能等を通じて日本を海外に紹介する国際交流イベントで、1986年以来毎年開催されています。（※年に2回開催されていた年もあります）今年のイベントは9月3日から9日まで

の7日間、英国・マンチェスター市で開催され、日本各地の市民団体約500人が訪問し、伝統芸能や伝統文化などを披露しました。

白糠町からは、棚野孝夫町長をはじめ、白糠アイヌ協会および白糠アイヌ文化保存会の会員10人と町職員の3人が訪問。5日と6日の両日にムックリの演奏とアイヌ古式舞踊を披露しました。

5日はオープニングフェスティバルとして、マンチェスター市内にある「ファースト・ストリート・スクエア」が会場。屋外ステージでの披露で、ステージの対面には大きなスクリーンがあり、そこにもステージの様子が映し出されています。開催時刻の15時（※英国時間、以下同様）を迎えると、会場は多くの人で埋め尽くされ、椅子に座り切れずに階段や路肩に座っている人も多く見られました。

白糠町は3番目に出演。はじめに磯部会長がアイヌ語で「イランカラプテ（こんにちは）」とあいさつ。「本日は古くから伝承されてきたアイヌの伝統楽器ムックリの演奏とフンペリムセという古式舞踊を披露します」と紹介しました。ムックリは口琴と呼ばれ、弁と



- 1 / 5日はオープニングフェスティバルとして屋外ステージでの公演。公演に先立ち、あいさつを述べる磯部会長。
- 2 / ムックリを演奏する木村さん（左）と新藤さん（右）
- 3 / 会員全員によるフンペリムセ（クジラ踊り）。終了後は全員が舞台中央に集まり、アイヌ語で「イヤイライケレ（ありがとうございました）」とあいさつを述べ、手を振りながら舞台を降りました。
- 4 / 会場からは大きな拍手が寄せられました。

白糠アイヌ文化 世界に発信

時代や国境を超えて 人々の心に届ける 感動のパフォーマンス



9月5日、歓迎式典が開催されたマンチェスター大聖堂にて。【左から】池村美博 木村明日香 新藤真奈美 吉田昌司 新藤光弥 新藤愁弥 磯部恵津子 淵野諒 大森恵 越野由利子 田中俊則 時田和恵（敬称略）